

共通選考基準

<手術手技基準>

- (1) 頰椎・腰椎変性疾患の割合が原則として50%以上であること
 - (2) 申告手術数の合計20%まで算定される手術手技
 - 1) 末梢神経手術手技
 - (3) 申告手術数の合計10%まで算定される手術手技
 - 1) 脊髄刺激療法に関する手術
 - 2) 脊髄バクロフェン持続注入療法に関する手術
 - 3) 椎体形成術
 - (4) 審査除外対象手術手技
 - 1) 創傷治癒・髄液漏・術後出血に関する再手術
 - 2) 脳脊髄液減少症に関する手術(ブラッドパッチ等)
 - 3) 局所麻酔下での疼痛緩和目的の手術手技全般
- ※なお、経皮的内視鏡手術については通常手術症例とする。

認定医選考基準(新規)

<クリニカルスコア>

執刀医、第1助手、指導的助手:過去総計100件以上

クリニカルスコア=(手術総数-100)×0.5

<アカデミックスコア>

(1)過去4年間の学会発表

| | 特別講演・ シンポジウム | 一般演題・ ポスター発表 |
|-------------------------------|-----------------|-----------------|
| 日本脊髄外科学会 日本脳神経外科学会 (総会) | 10 | 5 |
| 指定国内学会※ | 5 | 3 |
| 国際学会 | 10 | 5 |

※日本脳神経外科コンgres・日本脊椎脊髄病学会・日本脊髄障害医学会
日本脊椎・脊髄神経手術手技学会

※発表時のプログラム・抄録のコピーの添付を必須とする。添付されない場合はスコアに反映されない

(2)脊髄脊椎に関する過去10年間の論文

| | 英文 | 機関誌 「脊髄外科」 | 機関誌 「脊髄外科」 Extended Abstract | 邦文 |
|------|----|---------------|---------------------------------------|----|
| 筆頭著者 | 10 | 6 | 4 | 4 |
| 共著 | 5 | 3 | 2 | 2 |

※論文(機関誌【脊髄外科】を含む)は査読論文が対象

英文・邦文ともに First Author から Third Author まで、及び Last Author とする

教科書・著書・依頼原稿、商業雑誌掲載原稿・地方誌掲載論文・会議録(抄録)は対象外

但し、以下については筆頭著者のみ対象とする(4点)

「脊椎脊髄ジャーナル」(三輪書店)、「脳神経外科」(医学書院)、「脳神経外科ジャーナル」(三輪書店)は対象とする。

※英文は Pubmed 掲載論文のみ対象とする

※英文論文、和文論文ともに申請リストに記載したものはすべて、論文の著者名・論文名・雑誌名が記載されている頁(表紙1頁)の添付が必須である。添付されない場合はスコアに反映されない

※この基準は 2021 年度の選考基準であり、基準については見直し等で変更する場合があります

(3)教育セミナー出席 1回 5点

選考基準

クリニカルスコアとアカデミックスコアの合計が30点以上とする。

提出方法

原則 Excel データにてお送りください。